

<機能病態学教室 セミナー>

**Molecular Pathogenesis of Alzheimer's Disease:  
Role of the Gut Microbiome**



**Sangram S. Sisodia, Ph.D**

Thomas Reynolds Sr. Family Professor of Neurosciences Professor  
Director, Center for Molecular Neurobiology  
Departments of Neurobiology and Neurology  
The University of Chicago

**日時：2023年2月15日（水）午後4時-5時**

**場所：東京大学薬学部 南館4階 大学院講義室**

Dr. Sisodia はアミロイドβ前駆体タンパク質の代謝解析（Sisodia et al., Science 1990）を皮切りとして、家族性アルツハイマー病原因遺伝子プレセニリンの機能解析（Thinakaran et al., Neuron 1996）、家族性遺伝子変異に基づくアミロイド斑蓄積モデルマウスの確立（Borchelt et al., 1997）、更には環境因子が神経幹細胞やアミロイド斑蓄積に与える影響（Lazarov et al., Cell 2005）など、アルツハイマー病に関する分子病態研究において常に先駆的な研究を進めている、世界的に著名な研究者です。今回、ご来日の際に最近精力的に解析されておられるマイクロバイーム（腸内細菌叢）とアルツハイマー病病態に関わる研究成果（Minter et al., Sci Rep 2016, 2017; Dodiya et al., J Exp Med 2019, 2022）を伺う機会を設けました。大学院生だけでなく、PI・若手研究者の方々の多数のご参集をお待ちしております。

Contacts

東京大学大学院薬学系研究科機能病態学教室 富田泰輔

tel: 03-5841-4868 e-mail: taisuke@mol.f.u-tokyo.ac.jp